



いや、さう、やさぎ

YUKIUSAGI

いわや 岩谷医院会報 第8号 平成16年9月17日

岩谷医院

院長 岩谷文夫（循環器専門医、心臓血管外科専門医、健康スポーツ医）

副院長 岩谷恭子（循環器専門医、内科認定医、産業医）

アテネオリンピックの日本勢の活躍

この会報が出る頃にはアテネオリンピックの興奮も冷め、日本人の睡眠不足も解消されていることでしょう。長嶋ジャパン本当に残念でした。長嶋監督が病気欠場となり、更に大きなプレッシャーがチームにかかるつてしましましたね。「アイ ラブ プレッシャー」は、かの有名なプロゴルファー、トム ウトソンの言葉ですが、プレッシャーをはねのけるのは大変なことです。そんな中でも、金メダルを取った選手は本当に見事の一言ですが、メダルに届かなくても、精一杯自分の力を出し切った選手の顔はすがすがしかったですね。遠いアテネからの映像なのに鮮明に選手の表情が映し出され、とても感動的でした。とくにレスリング銅メダルの浜口選手の試合後のインタビューでの心からの笑顔、お父さんの優しいまなざし。幼少時からの異常とも言える厳しい鍛え方とあいまって、日本人の親子の原点を見る思いがして思わず涙が出てきました。

暑い夏も終わり、さわやかな秋の到来です。オリンピックの金メダルは無理でも人生のそれぞれの金メダルに向け、前向きにがんばっていきましょう。



院長より
一言

足にも見られる動脈硬化

スポーツの秋、食欲の秋。美味しいものはほどほどにしないと、カロリーオーバーとなり、肥満、高血圧、動脈硬化の進行に拍車がかかります。手っ取り早い運動はやはりウォーキングですね。酸素を十分に吸いながら、20分以上かけて、平地を少し早足で歩くのがおすすめです。心地よい疲れが足に感じられれば良いのですが、歩いていて、ふくらはぎや、もの後ろが痛くなり、立ち止まって少し休めばまた歩けるような症状がある方は要注意です。この症状は間欠性跛行（かんけつせいはこう）といって、足の動脈硬化のために動脈が狭くなった結果起こる症状です。心臓の動脈硬化が原因で起こる心筋梗塞や、狭心症は有名ですが、足にも同じことが起こります。足の動脈硬化の簡単な見つけ方は、指で足の甲のところにある動脈（足背動脈）を触れてみてください。両方とも脈が良く触れれば合格です。よく触れなかったり、左右差がある場合は動脈の異常が考えられますのでご相談下さい。

岩谷先生との出会い

福島市
国土交通省福上川ダム工事事務所所長

三 浦 清 志

降圧剤を服用し始めてから丸五年が経つ。昨年の四月、サラリーマン生活三十三年余の中でも初めて福島の地に転勤になった。仙台に居た時も単身生活ではあったが、二週間に一度青森の自宅に帰り、その時にかかりつけの医師からの薬をいただいていた。しかし、今度はそうではないなと辞令をいただいた時から覚悟をしていた。

早速、近くで優しくて、優しくて？かつて見立てる良い？名医はいないか、と探すこととなつた。職場の人たちにも聞いたが、私と同じような人（年令と病名と何よりも福島に居住している）は少なく、仲々、決まらない。やむを得ず、電話帳から五つばかり医院名をピックアップし、電話をかけ始めた。

自分の症状と扱っている専門分野、地理的・私との質問に丁寧に、優しく答えて下さり、電話の向こうから“これはきっと適確な診察をしてもらえる”と聞こえてきたのが、昨年五月からお世話になつて岩谷先生である。

昨年は、家内も福島に呼び寄せていたので、現在も夫婦二人でお世話になつている。

今年の二月の上旬、少しばかり忙しかつたものだから？体調を崩したことがあつた。仕事で福島大学のM教授と昼食をはさんでの座談会が予定されていた昼前、会場に向かう車中で具合が悪くなり、急拵岩谷先生との出会い



福島市
国土交通省福上川ダム工事事務所所長

先生の所へ伺い、そのまま点滴と懸念される病気の検査のための医師の紹介等、すれ

かりお世話になつた。そのまま点滴と懸念され結果的には、特に大きな病気でもなく過ぎたが、座談会を延期したことの判断は大正解だったと納得している。

福島市民の水道水の安定供給と飯坂地区、あるいはその下流の方々の洪水被害の軽減等を目的とした“福上川ダム（茂庭ヶ湖）”も現在、約六割程度の水が貯まり、来年度の完成に向けて、各種試験を行つていている。

国民が、安全で安心出来る日常生活が営まれるよう、福上川ダム建設に従事している私にとって岩谷先生との出会いは、高血圧症の不安を軽減していただき、また何でも相談出来る“名医”との出会いだと思つてゐる。

また、このような機会が得られたのは、岩谷医院が会報「ゆきうさぎ」を創刊して、いたからにはかならない。世の中からは、情報公開、説明責任等々、透明性、客観性を求めており、その意味においても、先生の識見に敬意を表したい。

立春も過ぎたある宵、教え子たちと盆（さかづき）を酌み交わした。仙台から地裁の裁判官として着任したKの歓迎会、福島家裁から山形の主席調査官に転出するTの送別会、新聞辞令で県庁の筆頭部長になるKと福島医大の心臓外科を退任して開業したIのお祝い会を兼ねての集いであります。間もなく還暦を迎える彼らは私が二十代の頃、安積高校で教えた人たちである。

一週間前に妻と讃岐・阿波・備前へミステリーの旅に出かけた折、金刀比羅宮に参拝した。彼らのためにお札でもと思ったが、讃岐うどんにしてプレゼントしたら喜ばれた。女将（おかみ）に、長年お店を続いているが、先生が教え子のため席を設けているということが初めてのこと、「ちょっとこれはいい話」と言われ、あまり客に披露しない小唄を聴かせてくれた。三味の音色も艶があり、盛り上がりが良い時間を持つことができた。会計を女将に促すと「皆さんからいただきました」と言われ、招待したのにご馳走になつた次第である。

各自近況報告をしたが、その中で医院を開いたI君の話を印象的であつたので紹介したい。

「ゆきうさぎ」というA版、四頁の医院会報を発行しており、創刊号から持参してくれた。「あなたのファミリードクター」を目指し、「かかりつけ医」として地域医療に貢献したいという。診察の中心は循環器科・内科・心臓血管手術の術後のケアなどである。現在の医療がますます専門化・高度化され、大病院の医療が考えられるがちだが、身近で何でも相談できる医師の存在は貴重である。

ヒヤシンス

元福島東高校校長
福島家庭裁判所調停委員

三 浦 賢 一

ある。

医院のモットーは「ひらかれた・やさしい・しんせつです」ぐれた医療を、すな

わち「ヒヤシンス」医療を目指していること

ことで、彼の誠実さがあふれる医院の雰

囲気が誌面のそこここに見られる。読者の声や芸能欄などもあり、患者との対話を大切にする院長の姿勢がうかがえる。

また感心したのは医院手帳を作成していることである。患者のカルテに代わるもので、今までにどんな病気をしたか、どんな治療を受けたか、現在の状況はどうか、どんな薬を服用しているなどが一見して分かるもので上着のポケットやハンドバッグに入るべきさまで、診察券も差し込めるようにしてあるオリジナルの手帳である。夜間や休日の緊急時の対応の不安解消や、他の医療機関を受診の際に自分の病歴や今までの病状がうまく伝わるかという声に応えて評判はすぐぶる良いようである。

I君は高校から医大まで野球部のエースで、高校の時は準決勝で優勝したチームに惜敗した。夏季講習を中止して応援に行き、あの時見たマウンドの雄姿がつい昨日のように思われる。医歴系大学の全国大会では優勝した。なお先年NHKのETV特集で心臓の医療について全国放送するなど、優れた資質を持つ研究者でもある。

これからは仲間をふやし、次回は山形に赴任するT君の案内で月山山麓の秘湯を訪ねる旅が企画された。この年になると教え子たちと語り合うことが何よりの楽しみであり、若返りの方法でもある。

I君とは、福島市太田町一七一二七で岩谷医院を開いている岩谷文夫医師のことであります。

三浦先生は私の安積高校時代の恩師で、野球と勉強の両立めさし頑張れと随分励ました。

（元）六一（西）福島市南沢又松北町三一
※ 「仙台一高四季会報」投稿文を引用させていただきました。
三浦先生は私の安積高校時代の恩師で、野球と勉強の両立めさし頑張れと随分励ました。（院長）

医院便り



心臓を守る会の夏季療育キャンプ

猪苗代の翁島荘にて7月31日、8月1日の2日間、今年も看護師の佐藤公恵さんと参加してきました。今年は講演も頼まれ、大変でしたが、元気な子供たち、明るいお父さん、お母さんそしてボランティアの方たちとキャンプファイヤーを囲むなど楽しいひと時を過ごしてきました。(院長)



渡辺正市先生、岩谷文夫先生を囲む会

畜産試験場(院長が福島医大時代に人工心臓の実験を行なった場所です)関係の仲間の会として毎年行なわれていますが、今回は岳温泉、陽日の郷あづま館に集合、小丸さんの居合いが披露されました。

患者さんの紹介コーナー



阿部スヂノさん

[福島市笹木野]

書道がご趣味で色紙をいただきました。書道教授で号は谷泉(こくせん)とお読みします。

『朝は希望に起き 昼は努力に生き
夜は感謝に眠る』
常にこうありたいものです。



小林 裕さん

[福島市鎌田]

岩谷医院の体重計のそばの写真は小林さんの作で毎月新しい作品をお持ちいただいています。



茂木由季枝さん

[福島市野田町]

重症の心臓病だった由季枝さん、赤ちゃんからのつきあいですが、このたび見事に運転免許を取得しました。おめでとうございます。

ラベンダーの香り

医療事務 坂 大 るり子

良い香りは、人の心をほっとさせてくれたり、又元気を出させてくれる場合があります。

私達スタッフは、あるお昼休みの時間に副院長でいらっしゃる恭子先生からハーブスティック(写真)の作り方を教えていただきました。

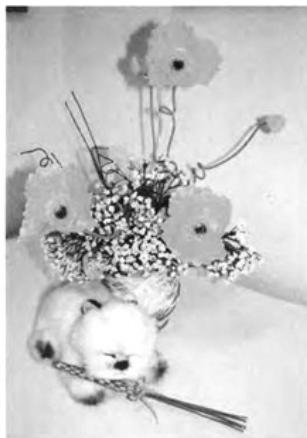
先生は、ご自宅で咲いたラベンダーの花束とリボンをお持ちになって、とても丁寧に教えて下さったので全員上手に作ることができました。

作成中、ラベンダーの香りが漂う中、楽しい会話と共に童心に帰った思いであつという間に時間がすぎてしまいました。できあがったハーブスティックを飾りながら、生活の中に香りを取り入れて行くことは、現代のストレスの多い時代にあって必要なことではないかと思いました。そして、もしできることなら人として、相手をリラックスさせてあげられるような存在になれたらとも思いました。

5月から、恭子先生とご一緒に仕事をさせていただいているが、岩谷医院において、恭子先生の存在は、香りのような役割を果たして下さっているような気が致します。その人の人となりというものは接する人々に影響を与えますが、先生方お二人共語られる言葉の多くは、ある古い書物の中にあります。

「適切な時に話される言葉は銀の彫り物の中の金のりんごのようだ」ということばに表わされていると思います。

私達、スタッフも少しでも先生方から学んでヒヤシンス診療のお手伝いができるべと思っております。



医院からのお知らせ



【高齢者に対するインフルエンザ予防接種】

1) 実施期間

平成16年10月25日(月)～12月22日(水)

2) 対象者

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する者として厚生労働省が定める者（障害者手帳1級該当者）であり、接種を希望する福島市民

3) 接種料金 ￥1,000円

【一般の方のインフルエンザ予防接種】

1) 実施期間

平成16年10月25日(月)から

2) 接種料金 ￥3,000円

ご注意 今年度も昨年同様、希望者が多くなることが予想されます。ご希望の方は早めの予約をおとり下さい。

【福島市市民検診のお知らせ】

1) 実施期間

平成16年7月1日～11月30日(火)

2) 受診内容

基本検診、胸部X線、大腸、（肝炎ウィルス）～岩谷医院において～

受診の際、受診券、保険証をお持ち下さい
電話で予約をなさって下さい

小島薬局だより

お薬の中には、14日分までしか出せない薬があります。発売され

て1年未満の薬と、睡眠剤などです。『もっと長くもらえないかな。』と、よく患者さんから言われますが、厚生労働省の決まりですので出すことはできません。14日後にまた病院を受診して下さい。

お時間のない方には、配達もいたしておりますので、配達を希望の方は薬局でおっしゃって下さい。

(短歌)

(俳句)

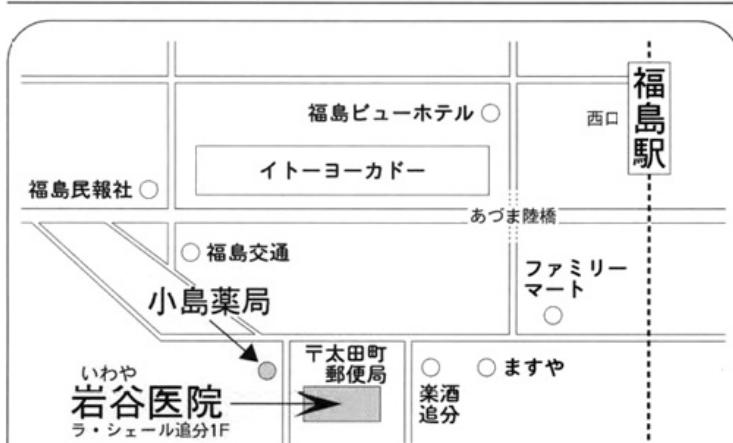


● 坂大りんさん (福島市佐倉下)
焼き網に 山川「さんせん」の風 流れ来る 縁台の人 盆かたむけり

※野村主勲様庭園での暑払いに招かれて詠む
ラベンダー 香り織り込む りばん花
※副院長お手作りを詠む
局長賞 赤いボストに 祝い酒
※太田町内会盆踊りに参加して

● 小丸孝也さん (福島市蓬萊町)
〔アテネオリンピックを終えて〕
三度目で いぶし銀 中年の星
民族の 心ふるわす ゴールかな
茶め氣あり 超気持ちよい 水の王
サムライを 演ずる女王 水中華
眠れぬ夜 酷暑に加え 金ラッシュ
北京では 最強の 長嶋ジャパン 銅したか
ドラマより 遺伝子組み換え ドーピング
感動と 夢を残して 聖火消ゆ
※坂大さん、小丸さん、今回もご投稿いただき有難うございました。

短歌、俳句、川柳



【福島駅西口より 徒歩7分】 〒960-8068 福島市太田町17-27

ラ・シェール追分1F

でんわ 024-528-7770 / FAX 024-528-7780

★ 診療時間 ★

平日（木曜日を除く）は 午前9時～12時 午後2時～5時30分
土曜日は 午前9時～午後2時（昼休みなしで診療いたします）
休診日は 日曜日・祝祭日・木曜日

★ 診療項目 ★

内科疾患・循環器疾患・動脈疾患・先天性心疾患・人工弁管理・ベースメーカー管理・人工血管管理・基本検診 など